

FXDDのMT4デモ口座の不具合について

1. 2012年10月以降、本講座で採用しているMT4用のFXDDデモ口座からのレート配信に不具合が多発
2. 特に取引が活発となる日本時間の夕刻以降に、FXDD側との通信状態が悪化し、MT4でのレート受信が滞ってしまう（「回線不通！」の表示）

上記の問題が発生されている方については、次の方法で対処するようにしてください。

複数のMT4をインストールし、それらを常時起動させておく

こちらではまず、その理由について具体的にご説明しますが、実際の作業手順や方法などについては、別マニュアルやYouTubeに公開する動画解説をあわせてご参照ください。

複数のMT4のインストールについて

本講座で利用しているMT4（Meta Trader 4）というアプリケーションソフトは、もともとはMeta Quotes社という企業が開発したものです。

そして、世界各地で営業しているブローカー各社は、ほとんどの場合、ベースとなるこのソフト（MT4）に、自社用の独自カスタマイズ（サーバータイム設定、提供レート、自動取引用のインジケータ追加など）をそれぞれで施し、それを無料提供して、自社との取引を希望する顧客獲得につなげるというシステムをとっています。

それゆえ、提供元のブローカーが異なれば、同じMT4という名称のソフトではあっても、パソコン側から見た場合には、それぞれをまったく異なるソフトとして認識することになるため、1台のパソコンでも、我々顧客サイドは、複数のブローカーから提供されるMT4を個別にインストールすることにより、それらを同時に起動して利用することさえもが可能になります（ちなみに、あるブローカー提供の、まったく同じMT4を、1台のパソコンに複数インストールして同時利用するという方法もありますが、その説明については、今回は省略します）。

そこで、今回のような不具合が発生した場合には、今後のリスクヘッジのためにも、現段階で利用しているFXDDのデモ口座以外に、最低でも別のもう1社（リスクヘッジを強く望まれる方は2社）が提供しているMT4を新たにインストールし、そのブローカーのデモ口座も常時使用可能である、という環境を構築しておくことが望ましいと言えます。

具体的には、次の2社（ともに国内業者）をおすすめします。

1. サイバーエージェントFX（純粋な国内業者）
2. アルパリジャパン（英国法人の100%子会社）

なお、今回の作業を行う際は、必ず以下のドキュメントにアクセスして、MT4のダウンロード先や、作業解説用の動画内容についても確認し、充分にご理解いただいたうえで進めるようにしてください。

MT4の複数インストール解説マニュアル

（上記をクリックすると、Googleのドキュメントが開きます）